

淀殿の供養と顕彰碑の並ぶ太融寺



淀殿の供養と顕彰碑の並ぶ太融寺

顧問先の会議が午前中、師に運よくお会いでき、終わったので、梅田散策。境内には参拝者が絶え間なく、数人の女性会に親しまれている。社員が弁当を広げている。「北野の太融寺」に足がた。うわさどおりのにぎむき、ご任職の麻生弘道わいである。

いくつかの堂宇や石碑を見たあと、任職のお話をうかがった。「高野山真言宗に所属する当寺は、嵯峨天皇の勅願により弘法大師に開基されて、約

1200年、大阪の人々に親しまれてきました。大坂夏の陣(1615年)の敗戦と第二次世界大戦の空襲(1945年6月)で全焼しましたが、ご本尊の千手観世音菩薩は無事難をのがれました。戦後再建に着手し、見事復興しました。大阪人の活力はたいしたものですよ」と胸を張ってみせた。

ここで広口富三郎を顕彰しよう。明治27年5月6日、大阪郵便電信局の廣口富三郎は風雨を顧みず電報配達途中、大江山の中央まで走ってきた



今度私からうかがった。「淀君の供養塔は勿論、それ以外では顕彰碑が目にとまり、開かれた公園ですね。特に広口富三郎の電報配達員の事故による殉職は感銘しましたね」「事故以降、大阪中央電報局がなくなった今も、NTT中之島営業所が引き継ぎ、毎年追悼法要を実施していますね」。身をもって語り継ぐ、こんな機会を持つこ

時、人力車に激突してのどを突かれ、電報を固く握ったまま職に殉ぜられたという。少年時代に聞いた「職務を全うする」という言葉がよみがえってきた。任職と同年齢で、

大融寺 弘仁12(821)年に嵯峨天皇の勅願により弘法大師が創建された。天皇の皇子・河原左大臣源融(みなもとのとのおる)公がこの地に七堂伽藍(がらん)を建立し、浪花の名刹(めいさつ)とした。寺名は融公の一字を取って大融寺とした。

悪女というイメージ払しょく

提寺の任職として黙っていられないのです」と、関東人らしい正義感を吐露された。「具体的にどんなことをされたのですか」と問うと、ひと呼吸後、任職は淡々と語り始めた。「淀君には悪女としての軽べつ的意味合いが込められており、この言葉のもつイメージを払しょくしたくて、供養塔の説明には「淀の方」と記し、秀吉没後の豊臣方の中心を後にした。

絵・文 熱田親憲